

「家庭総合」	単位数	4単位
	学科・学年	普通科 3年文系クラス

### 1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 人の一生を生涯発達の見点でとらえ、家族・家庭の意義、子ども、高齢者、そして、社会とのかかわりについて理解する。 2. 生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る力と実践的な態度を身につける。
使用教科書	第一学習社「家庭総合」

### 2. 学習計画 年間4単位 (140時間)

評価の観点のポイント a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

学月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	d
1 4	1章 これからの生き方と家族 1節 青年期を生きる					
	①自分らしい人生とは	・人間は生涯を通して発達していく存在であることを認識する。	○			○
	②青年期の課題	・青年期はアイデンティティを確立する時期であることを知る。	○			○
	③ワークライフ・バランス	・仕事と生活の調和をめざし、家庭生活と職業生活を両立するための課題について考える。	○	○		
	④男女の平等と相互の協力	・男女共同参画社会に向けての法令について理解を図る。	○	○		○
	2節 家族・社会との関わり					
	①家族・家庭とは？	・人間形成の面での家族の役割と重要性について理解する。	○			○
②家族・家庭のはたらき	・家族形態の相違による家庭生活とその多様性を理解する。		○		○	
③これからの生活を作る	・次世代をはぐくむ必要性和多様な手段について考える。	○	○		○	
④家族に関する法律	・人の一生と法律のかかわりおよび家族に関する法律について理解する。	○			○	
5	2章 次世代をはぐくむ 1節 子どもの発達					
	①次世代をはぐくむ	・次世代の子どもたちを健やかに育てることの責任を理解する。	○			○
	②命のはじまり	・妊娠から子どもの誕生までの母体の健康管理、胎児の発育と母胎の変化を学ぶ。	○		○	○
	③子どもの体の発育・発達	・乳幼児期は一生を通じての人間の発達の基礎を作る最も重要な時期であることを理解する。	○			○
	④子どもの心の発達	・乳幼児の発達の面から遊びの意義や児童文化財について考える	○	○		○
	⑤子どもと遊び	・幼児期が、心と体の発達の面で大切な時期であることを知る。	○			○
	⑥子どもとのふれあい		○	○		○
	2節 親の役割					
	①親と子の関係	・乳幼児期の「愛着」の形成は、その後の人間関係作りに重要であることを理解する。	○			○
	②乳幼児の生活	・子どもの人間形成に関わる親の役割について理解する。	○	○		○
3節 子育て支援と福祉						
①子育て支援と地域社会のかかわり	・家庭保育と集団保育の意義と、保育のあり方、特徴を理解する。 ・子どもの権利や福祉について理解を図る。	○			○	
			○			○

	②子どもの権利と福祉	・国際社会に生きるものとして差別のない社会をめざし、ともに生きる大切さを考える。							
6	3章 充実した生涯へ	1節 高齢期を生きる							
	①高齢期をどう生きるか	・高齢者の存在が関わり深いものになってきたこと、高齢者から学ぶことが多いことなどについて理解する。							
	②高齢期の生きがいと就労	・高齢者の健康意識について知る。							
	③高齢者を知る	・高齢者の社会参加の例として、地域活動等について考える。 ・高齢者の優れた知力について知る。							
	2節 高齢社会を支え合う								
	①高齢社会の現状と課題	・日本の高齢化の現状について理解するとともに将来のあり方を考える。							
	②高齢者やその家族の支援システム	・地域の介護サービスの状況について調べ、高齢者がその人らしい生活を送れるよう実践していく態度を養う。							
	③高齢者の尊厳	・高齢者に対する心構え、介助される側の立場を理解する。							
	4章 ともに生きる								
	①社会保障制度と福祉	・社会保障制度の必要性としくみを認識し、理解する。							
②ともに生きる社会	・ノーマライゼーションの実現のための実践的な態度を身につける。								
7	6章 食べる								
	①私たちと食事	・日常の食生活を振り返り、食事について学ぶ意欲を高める。							
	②食べることと健康	・健康で安全な食生活を営むための基本を知る。							
	③食生活の変化	・食生活に関わる情報を適切に判断することができる。							
	④食生活の文化	・日本や地域の食文化を知る。							
2 9	2節 栄養と食品								
	①人体と栄養	・健康な食生活を送るうえで必要な栄養素について理解する。							
	②栄養素の種類と性質	・それぞれの栄養素について働きを理解する。							
	③加工食品・健康食品など	・調理加工食品や調味料、香辛料について理解するとともに、サプリメントの効果や扱い方についても考える。							
	3節 食生活の安全のために								
10	①食生活の安全と衛生	・食中毒の種類について知り、予防について学ぶ。							
	②食品の選択と保存	・食品を正しく選ぶ力を養う。							
	4節 食生活をデザインする								
	①栄養バランスのよい食事	・健康の維持・増進、体の成長のために必要な食事摂取基準について理解する。							
	②ライフステージと食事	・ライフステージごとに、必要な栄養素や嗜好の違いを理解する。							
11	③献立作成の手順	・栄養・嗜好・味わい・予算・調理時間などを考えて、合理的に献立作成ができるようにする。							
	④調理の基本	・調理の基本技術を習得する。							
	⑤調理実習	・和風・洋風・中国風料理の盛りつけと配膳ができるようにする。							
	7章 装う	1節 人の一生と被服							
	①人と被服	・被服の持つ機能を生かし、望ましい着装について考える。							
②多様な被服	・被服は気候・風土や、ライフステージによっても違うことを知る。								
③被服の選び方	・品質表示・取り扱い表示の意味、サイズ表示の見方を理解する。								

		④被服の成り立ちと着方	・自分らしい装い方を工夫し、実践する。						
		2節 被服の製作							
		①被服の製作過程	・被服製作の手順を理解する。						
		②被服製作用具	・被服製作に必要な基礎的な知識、技術を身につける。						
		③被服製作実習	・リラックスパンツの制作						
	12	3節 被服材料と管理							
		①被服材料の種類と特徴	・織物と編み物の違いを知る。織物は3原組織、編み物はメリヤス組織について理解する。						
		②衣料用繊維							
		③被服の手入れと保管	・布がどのような繊維でつくられているかに関心をもつ。						
		④洗濯のしくみ	・被服の手入れについて、主体的に取り組む態度を養う。						
		⑤衣生活と資源環境	・湿式洗濯と乾式洗濯の特性を理解する。 ・環境に負荷を与えない行動について考え、実践する。						
3	1	8章 住まう 1節 人の一生と住まい							
		①気候風土と住まい	・住まいは気候や風土に応じてつくられたことを理解する。						
		②人と住まい	・なぜ、住まいが必要か考える。						
		③平面図の活用	・平面図を読み取り、望ましい間取りを考えることができる。						
		④ライフステージと住まい	・各ライフステージに必要とされる居住条件と住まいについて考える。						
		⑤住まいのインテリア	・インテリアの基本を理解し、居心地のよい部屋作りを考える。						
	2	2節 住生活の計画と選択							
		①快適で健康な住まい	・住環境が健康な生活に大きな影響を与えることを理解する。						
		②住まいの安心・安全	・自然災害や人的災害への対策について考える。						
		③住まいの維持管理	・耐久年数を維持するためのメンテナンスについて理解を深める。						
		5章 経済生活を営む 1節 私たちの暮らしと経済							
		①経済生活の中身を知る	・家庭の収入と支出をとおして家計の構造を理解する。						
		②家庭生活と社会の関わりを知る	・家庭経済と国民経済の関わりを理解し、経済計画・予算計画の必要性を認識する。						
		③将来の経済生活を考える	・経済現象に対して、正確な知識や情報を収集し主体的に判断し行動する態度を身につける。 ・生活目標の実現のためには、経済計画が必要であることを知る。						
	3	2節 消費者問題を考える							
		①契約トラブルとその対策	・責任ある消費行動をとっていこうという態度を養う。						
		②グッズ利用のリスク	・契約に対する責任を自覚し、問題商法に会わないための予防法を考える。						
		③消費者の自立と行政の支援	・消費者は一人ひとりに義務と責任があることを理解する。						
		3節 持続可能な社会をめざして							
		①消費生活と環境問題	・次世代が暮らしやすくするために、環境保全に取り組む責任があることを認識する。						
		②私たちになにができるのか	・環境に調和したライフスタイルの確立を図る。						

「生活教養」	単位数	2単位
	学科・学年	普通科(文系クラス)3年

### 1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. エチケットの意義や基本について理解させ、常に相手の立場にたって物事を考える態度を養わせる。 2. いろいろな挨拶やおじぎのTPO・立ち居振る舞い等について学び、毎日の生活に自然に生かすことが出来るようにする。 3. 正しい言葉使い、敬語の使い方、手紙の書き方、電話のかけ方等について理解させ、実践できるようにする。
使用教科書	最新版 楽しく学べるマナーの基本 (教育図書)

### 2. 学習計画 年間2単位 (70時間)

評価の観点のポイント a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

学期	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	d
1	1章 好感度アップのポイント					
	①身だしなみの基本 ②美しい立ち居振る舞い ③子どもや高齢者との接し方 ④敬語の使い方や挨拶のマナー	・社会生活におけるマナーについて関心を持ち、意欲的に取り組み実践的な態度を身につける。	○		○	○
	2章 外出先でのマナー					
	①電車でのマナー ②訪問とおもてなしのマナー ③洋室や和室でのマナー ④お茶・お菓子の出し方⑤	・社会生活におけるマナーやTPOについて思考を深める。 ・お茶の入れ方や出し方、訪問の仕方などに理解を深め、実践することができる。	○			○
	秘書検定の取り組み	秘書検定の資格取得に向けて取り組みことができる	○		○	○
2	3章 食事のマナー					
	①日本料理、西洋料理、中華料理 ⑤コーヒーの飲み方・ケーキの食べ方	様式別料理のマナーや喫茶のマナーについて理解を深め、身についた知識や技術を生かして実践することができる。	○		○	○
	4章 書き方のマナー					
	①手紙の書き方 ②頭語と結・挨拶文 ③国際郵便、ビジネス文書	手紙やビジネス文書の書き方がわかり、身についた知識を生かして実践することができる。	○	○		○
	5章 人生の節目のしきたり					
①贈り物のマナー ②通夜・葬儀のマナー ③節目のお祝い	人生の節目のしきたりについて理解を深め、思考を深める。	○	○		○	
秘書検定の取り組み	秘書検定の資格取得に向けて取り組みことができる	○		○	○	
3	6章 社会人としてのマナー					
	①ビジネスマナー、電話応対 ②来客時の対応、メールの基本	社会人としてのマナーを理解するとともに、身についた知識を、技術を活用して実践する。	○		○	○

7章 日本の年中行事					
①季節や各月の行事	日本の伝統文化について関心を持ち、生活を豊かにするよう意欲的に取り組むとともに、生活の工夫、創造する能力を身につける。	○	○		○
8章 国際人としてのマナー					
①日本の伝統文化	国際社会に生きるものとして差別のない社会をめざし、ともに生きる大切さを考える。	○			○
②国際社会でのマナー					

「家庭基礎」	単位数	2単位
	学科・学年	理数科2年 普通科(理系クラス)3年

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、子ども、高齢者、そして、社会とのかかわりについて理解する。 2. 生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る力と実践的な態度を身につける。
使用教科書	第一学習社「家庭基礎」

2. 学習計画 年間2単位 (70時間)

評価の観点のポイント a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

学月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	d
1 4	1章 これからの生き方と家族 1節 青年期を生きる					
	①自分らしい人生とは	・人間は生涯を通して発達していく存在であることを認識する。	○			○
	②青年期の課題	・青年期はアイデンティティを確立する時期であることを知る。	○			○
	③ワークライフ・バランス	・仕事と生活の調和をめざし、家庭生活と職業生活を両立するための課題について考える。	○	○		
	④男女の平等と相互の協力	・男女共同参画社会に向けての法令について理解を図る。	○	○		○
	2節 家族・社会との関わり					
	①家族・家庭とは?	・人間形成の面での家族の役割と重要性について理解する。	○			○
	②家族・家庭のはたらき	・家族形態の相違による家庭生活とその多様性を理解する。		○		○
	③これからの生活を作る	・次世代をはぐくむ必要性和多様な手段について考える。	○	○		○
	④家族に関する法律	・人の一生と法律のかかわりおよび家族に関する法律について理解する。	○			○
5	2章 次世代をはぐくむ 1節 子どもの発達					
	①次世代をはぐくむ	・次世代の子どもたちを健やかに育てることの責任を理解する。	○			○
	②命のはじまり	・妊娠から子どもの誕生までの母体の健康管理、胎児の発育と母胎の変化を学ぶ。	○		○	○
	③子どもの体の発育・発達	・乳幼児期は一生を通じての人間の発達の基礎を作る最も重要な時期であることを理解する。	○			○
	④子どもの心の発達	・乳幼児の発達の面から遊びの意義や児童文化財について考える	○	○		○
	⑤子どもと遊び	・幼児期が、心と体の発達の面で大切な時期であることを知る。	○			○
	⑥子どもとのふれあい					
	2節 親の役割					
	①親と子の関係	・乳幼児期の「愛着」の形成は、その後の人間関係作りに重要であることを理解する。	○			○
	②乳幼児の生活	・子どもの人間形成に関わる親の役割について理解する。	○	○		○
3節 子育て支援と福祉						
①子育て支援と地域社会のかかわり	・家庭保育と集団保育の意義と、保育のあり方、特徴を理解する。 ・子どもの権利や福祉について理解を図る。	○			○	

	②子どもの権利と福祉	・国際社会に生きるものとして差別のない社会をめざし、ともに生きる大切さを考える。	○	○	○
6	3章 充実した生涯へ	1節 高齢期を生きる			
	①高齢期をどう生きるか	・高齢者の存在が関わり深いものになってきたこと、高齢者から学ぶことが多いことなどについて理解する。	○		○
	②高齢期の生きがいと就労	・高齢者の健康意識について知る。	○	○	○
	③高齢者を知る	・高齢者の社会参加の例として、地域活動等について考える。 ・高齢者の優れた知力について知る。	○	○	○
	2節 高齢社会を支え合う				
	①高齢社会の現状と課題	・日本の高齢化の現状について理解するとともに将来のあり方を考える。	○	○	○
	②高齢者やその家族の支援システム	・地域の介護サービスの状況について調べ、高齢者がその人らしい生活を送れるよう実践していく態度を養う。	○	○	○
	③高齢者の尊厳	・高齢者に対する心構え、介助される側の立場を理解する。	○	○	○
	4章 ともに生きる				
	①社会保障制度と福祉	・社会保障制度の必要性としくみを認識し、理解する。	○		○
②ともに生きる社会	・ノーマライゼーションの実現のための実践的な態度を身につける。	○	○	○	
7	6章 食べる				
	①私たちと食事	・日常の食生活を振り返り、食事について学ぶ意欲を高める。	○		○
	②食べることと健康	・健康で安全な食生活を営むための基本を知る。	○		○
	③食生活の変化	・食生活に関わる情報を適切に判断することができる。	○	○	○
	④食生活の文化	・日本や地域の食文化を知る。	○		○
2 9	2節 栄養と食品				
	①人体と栄養	・健康な食生活を送るうえで必要な栄養素について理解する。	○		○
	②栄養素の種類と性質	・それぞれの栄養素について働きを理解する。	○		○
	③加工食品・健康食品など	・調理加工食品や調味料、香辛料について理解するとともに、サプリメントの効果や扱い方についても考える。	○	○	○
	3節 食生活の安全のために				
10	①食生活の安全と衛生	・食中毒の種類について知り、予防について学ぶ。	○		○
	②食品の選択と保存	・食品を正しく選ぶ力を養う。	○	○	○
	4節 食生活をデザインする				
	①栄養バランスのよい食事	・健康の維持・増進、体の成長のために必要な食事摂取基準について理解する。	○		○
	②ライフステージと食事	・ライフステージごとに、必要な栄養素や嗜好の違いを理解する。	○		○
11	③献立作成の手順	・栄養・嗜好・味わい・予算・調理時間などを考えて、合理的に献立作成ができるようにする。	○	○	○
	④調理の基本	・調理の基本技術を習得する。	○	○	○
	⑤調理実習	・和風・洋風・中国風料理の盛りつけと配膳ができるようにする。	○	○	○
	7章 装う	1節 人の一生と被服			
	①人と被服	・被服の持つ機能を生かし、望ましい着装について考える。	○	○	○
	②多様な被服	・被服は気候・風土や、ライフステージによっても違うことを知る。	○		○
	③被服の選び方	・品質表示・取り扱い表示の意味、サイズ表示の見方を理解する。	○	○	○

		④被服の成り立ちと着方	・自分らしい装い方を工夫し、実践する。						
		2節 被服の製作							
		①被服の製作過程	・被服製作の手順を理解する。						
		②被服製作用具	・被服製作に必要な基礎的な知識、技術を身につける。						
		③被服製作実習	・リラックスパンツの制作						
	12	3節 被服材料と管理							
		①被服材料の種類と特徴	・織物と編み物の違いを知る。織物は3原組織、編み物はメリヤス組織について理解する。						
		②衣料用繊維	・布がどのような繊維でつくられているかに関心をもつ。						
		③被服の手入れと保管	・被服の手入れについて、主体的に取り組む態度を養う。						
		④洗濯のしくみ	・湿式洗濯と乾式洗濯の特性を理解する。						
		⑤衣生活と資源環境	・環境に負荷を与えない行動について考え、実践する。						
3	1	8章 住まう 1節 人の一生と住まい							
		①気候風土と住まい	・住まいは気候や風土に応じてつくられたことを理解する。						
		②人と住まい	・なぜ、住まいが必要か考える。						
		③平面図の活用	・平面図を読み取り、望ましい間取りを考えることができる。						
		④ライフステージと住まい	・各ライフステージに必要とされる居住条件と住まいについて考える。						
		⑤住まいのインテリア	・インテリアの基本を理解し、居心地のよい部屋作りを考える。						
	2	2節 住生活の計画と選択							
		①快適で健康な住まい	・住環境が健康な生活に大きな影響を与えることを理解する。						
		②住まいの安心・安全	・自然災害や人的災害への対策について考える。						
		③住まいの維持管理	・耐久年数を維持するためのメンテナンスについて理解を深める。						
		5章 経済生活を営む 1節 私たちの暮らしと経済							
		①経済生活の中身を知る	・家庭の収入と支出をとおして家計の構造を理解する。						
		②家庭生活と社会の関わりを知る	・家庭経済と国民経済の関わりを理解し、経済計画・予算計画の必要性を認識する。						
		③将来の経済生活を考える	・経済現象に対して、正確な知識や情報を収集し主体的に判断し行動する態度を身につける。 ・生活目標の実現のためには、経済計画が必要であることを知る。						
3		2節 消費者問題を考える							
		①契約トラブルとその対策	・責任ある消費行動をとっていこうという態度を養う。						
		②グッズ利用のリスク	・契約に対する責任を自覚し、問題商法に会わないための予防法を考える。						
		③消費者の自立と行政の支援	・消費者は一人ひとりに義務と責任があることを理解する。						
		3節 持続可能な社会をめざして							
		①消費生活と環境問題	・次世代が暮らしやすくするために、環境保全に取り組む責任があることを認識する。						
		②私たちになにができるのか	・環境に調和したライフスタイルの確立を図る。						



「 フードデザイン 」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年	普 通 科 3 年

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	栄養・食品・献立・テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食事を総合的にデザインする能力と態度を育てる。
使用教科書	教育図書「フードデザイン」

2. 学習計画 年間2単位（70時間）

評価の観点のポイント a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

学 期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	留 意 点	a	b	c	d	
第 一 学 期	4	・フードデザインの学び方	1	1年間の学習内容や学習方法 教科の特徴と課題について理解させる		○			○	
		1、食生活の変化と現状	3	・食生活の洋風化に伴い栄養摂取量に大きく影響を与えていることを理解させ、不足している栄養素は何かを把握させる。 ・ライフスタイルの変化に伴い外食が増加し、さらに輸入食品に頼っている現状を理解させる。 ・食品の多様化は、摂取の仕方によって弊害になることを理解させる。	DVD ポストハーベスト 調べ学習	○	○		○	
		①食品とエネルギー、栄養素の摂取量 ②食の外部化、社会化 ③輸入に頼る食生活 ④食意識の多様化 ⑤食生活と環境				DVD	○	○		○
			2、よりよい食生活を創造するために	1	・よりよい食生活が健康の維持・増進につながり、生活全般を豊かにしていくものであることを理解させる。	DVD	○			○
		5	1、なぜ食物が必要なのか	6	・食物摂取の必要性を理解させる。 ・食物を選択するにあたり安全性、情報収集の大切さを理解させる。	DVD (栄養素の働き)	○			○
	①食物に求められるもの ②食物はどこから来るのか ③食物の選び方									
	6	2、健康に必要な栄養素	6	・各栄養素の種類と栄養的意義、それらの栄養素を含む食品について理解させる。		○			○	
		①炭水化物 ②脂質								

第 二 学 期	7	③たんぱく質 ④ビタミン ⑤無機質・水・その他	4	・各栄養素の代謝経路と役割を理解しバランスよく摂取する重要性を理解させる。	新聞づくり	○	○	○		
		3、食生活の成分と変化		・栄養成分が体内で消化吸収される過程を理解する。 ・調理の目的を知り調理による成分変化や効果を考える。		DVD 食品の安全性	○	○	○	
		①栄養素の吸収 ②色、香り、味の成分 ③安全性の向上	2	・私たちの身の回りにおける加工食品を知り目的を理解する。 ・食品加工の意義、目的、方法及び特徴に関して理解する。 ・特別の保健効果が期待できる保健機能食品について理解する。	市場調査 (レポート)	○	○	○		
		4、食品の加工		①食品加工の方法と特徴 ②保健機能食品と嗜好食品		○	○	○		
		5、食物検定 (4.3級)	9	1、調理の基本	6	・調理の目的を理解させ、食品のおいしさが味、香り、その他のさまざまな因子によって総合的に判断されるものであることを理解する。 ・各食品の調理上の性質を理解させその性質を実際調理に応用できる能力を身につける。	DVD 飾り切りのいろいろ	○	○	○
	①調理の目的 ②食べ物のおいしさ ③調理操作 ④食品の調理性	1		・食品群別摂取量を基にし目的に応じた、多様な食品調理法を取り入れた献立が作れるようにする。		実験 (レポート)		○	○	○
	2、献立作成			5	・様式別の献立と調理の特徴を理解するとともに、料理技術や食卓作法を理解し食生活に生かしていける能力と実践的態度を身につける		DVD (四群点数法) 献立作成	○	○	○
	①献立作成の留意点 ②献立作成				33			・みそ汁(赤だし)の基本的な作り方を理解、習得する。 ・青菜のゆで方を理解する。 ・天ぷらの衣の作り方、揚げ材料の下ごしらえの仕方、揚げ方を習得する。	DVD テーブルマナー	○
	3、様式別の献立と調理・食卓作法	①日本料理の特徴と献立食卓作法 ②西洋料理の特徴と献立食卓作法 ③中国料理の特徴と献立食卓作法		DVD		○	○	○		
	10	実習 和風献立(実習2回)								
11										

